



岡山県原水協通信

2015年10月29日 No357
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

国連軍縮週間行動で署名 宣伝

10月24日から国連軍縮週間が始まりました。国連軍縮週間行動として岡山県原水協は10月28日、岡山駅西口で宣伝・署名行動をおこないました。この行動には県労会議、高教組、人権連、岡山市職労、共産党、中尾代表、事務局から8人が参加。中尾代表から国連軍縮週間が設けられた経過と、国連総会第1委員会で議論されている状況は、「核兵器の非人道性に焦点が当てられ、禁止条約の締結こそもっとも確かな核兵器の廃絶の道」とであると訴えました。高松市から来たという年配の夫婦は「本当に核兵器はなくなるのか？」と問いかけ、核保有国さえその気になればなくせること、日本政府の姿勢が問題だと説明すると「安倍さんのアメリカ言いなりはけしからん」と署名に応じてくれました。



核兵器の禁止・廃絶に合意を 各国政府へ要請

日本原水協は国連軍縮週間の行動の一環として国連加盟の各国政府へ「核兵器全面禁止実現のためにたたちに行動」することを求め、10月26、27日の両日駐日大使館に要請行動をおこないました。2日間で15か国の大使館を訪問、2015年NPT再検討会議を受けた今年の国連第1委員会の議論で、核兵器禁止条約の交渉開始がおこなわれるよう要請し懇談しました。参加した平井事務局長はエジプト、ニュージーランド、カザフスタン、南アフリカ大使館を訪問。いずれの国も私たちが歓迎し、共通の目標で奮闘する和やかな懇談となりました。

(写真、左上・エジプト、下・カザフスタン 右上・南アフリカ、下・ニュージーランド)

署名を託しました

10月27日、日本原水協は「2015年国連軍縮週間のつどい」を国会内で開きました。集会の第1部で「核兵器全面禁止のアピール」を支持する署名の提出をおこないました。これまでに私たちが集めた署名501万2150筆を日本政府に提出するために日本共産党国会議員に署名を託しました。

岡山から参加した平井事務局長は仁比・井上参議院議員、大平喜信衆議院議員に署名を手渡し、「岡山県民の核兵器廃絶の思いを政府にしっかりと伝えてほしい」と要請しました。

(写真、左から井上・仁比参院議員、大平衆院議員、平井県事務局長)

